

創立40周年を

盛大に祝う

大山中学校（宮邊満校長、生徒163人）では、11月20日（土）に、多くの来賓を迎えて創立40周年記念式典を行いました。

式典の後は選択音楽の履修生徒14人による琴の演奏、またその後、校区の大山を題材にした桂小文吾さんの落語、演目「カラス天狗」が披露されました。落語を聴くのは初めてという生徒も多く、「笑福式呼吸」で気持ちも和らいだ後、およそ2時間の間、会場が笑いに包まれました。また落語の中には身近な地名が登場し、生徒たちは親近感を持って楽しみました。

▶森田町長が祝辞



▲桂小文吾さん



▲生徒14人が琴を演奏



▲子どもたちのパワーいっぱいの歌声に大拍手

一人ひとりの成長を
確かめ合って

～生活発表会～
所子保育所

所子保育所（園児102人）では、12月4日（土）に恒例の生活発表会を行いました。会場の遊戯室には、保護者や家族、来賓の方などあわせて、およそ300人が集まりました。

今回は普段の保育の中から、日々親しんでいる絵本や音楽などをからだ・ことば・歌で表現しました。

1歳・2歳（26人）の踊り「おしりフリフリ」や劇「おおきなかぶ」は、愛きょうを振りまくかわいらしい仕草に、会場が温かい微笑みでいっぱいになりました。

3歳児（28人）は、劇「おむすびころりん」を披露しました。各自が責任を持って一人で話すことを課題に取り組み、ちよっ



▲ドラゴンボールになりきって「カメハメハー!!」



▲仲間と心をひとつにして、一人ひとりが主役

ぱり緊張しつつも、披露する嬉しさを体いっぱいに表示しました。

4歳・5歳児（48人）は、今年度10回にわたって外国人講師を招き、異文化に触れながら英語の歌遊びやカード遊びを活動に取り入れました。その成果として「バイバイソング」など2曲の英語の歌を堂々と歌いました。園児の英語の吸収力のよさと歌の迫力に、会場から感動の拍手が沸き起こりました。

発表会では家庭と保育所、地域のみなさんとともに、一人ひとりの輝く表情や自分らしく精いっぱい表現している姿を目にし、子どもたちの成長を確かめ合うことができました。

子どもたちは発表会をおして自信を深め、確実に次の成長へのステップにつなげていったことでしょう。